

社会資本総合整備計画

安心安全で良好な住環境の形成

事後評価

平成27年3月

さいたまけんおけがわし
埼玉県桶川市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	安心安全で良好な住環境の形成														
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）							交付対象	埼玉県 桶川市						
計画の目標	住宅及び教育・生活環境等の整備を促進し、市民が安心して快適で魅力あるまちづくりを行なうとともに、市民サービスにおける一定レベルの維持及び向上を目指す。ひいては、人口増及び定住化に寄与する。														
計画の成果目標(定量的指標)	指標		単位	従前値		最終目標値		評価値		目標達成度	総合所見				
					基準年度		目標年度		計測年度						
	指標1	全世帯数	世帯	29,830	H22	31,580	H26	30,962	H26	△	土地区画整理事業等の着実な住環境整備を推進し、世帯数は増加したが、目標値には達しなかったため、目標達成度は△とした。				
指標2	安全な道路空間の確保率	%	0	H22	100	H26	73	H26	△	広域交通ネットワーク形成や安全性の確保等の観点から、早急に整備が必要な道路について、着実に整備を進めたが、目標値には達しなかったため、目標達成度は△とした。予算や住民合意形成等よりやや整備が遅れている箇所がでてきている。					
定量的指標の定義及び算定式	指標1	本市が作成する「住民基本台帳」に基づく世帯数。目標値は、近年の増加率を勘案し106%に設定。													
	指標2	$\text{車両・歩行者等が安全に通行できる道路延長の割合} = \frac{\text{改善必要ルート} \times \text{安全道路空間の確保率}}{\text{改善必要ルートの延長}}$ 目標値は、交通ネットワーク形成や安全性の向上のため整備が必要な道路の整備率													
定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業及び道路事業により、緊急車両の通行や歩行者の通行上課題のあった多くの狭隘道路が改善できた。 土地区画整理事業による住環境の基盤整備や、保育所の再整備、歩行空間の確保、街路灯の改修など、多様な観点からの住環境の整備ができた。 														
課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 圏央道桶川加納IC開通に伴う、円滑な広域道路ネットワークの形成が必要であったが、今回の事業によりアクセス道路の円滑化など図ることができた。 防災上の課題や歩行者の通行上課題のあった市内の狭隘道路について、その多くが改善された。 若年層を中心とした定住人口の維持・増加が課題であったが、土地区画整理事業を中心とした住環境整備を進め、良好な住環境形成とともに、26年ぶりに大型商業施設が立地するなど、市民の生活利便の向上や賑わい形成も図ることができた。 														
今後のまちづくり方策	<ul style="list-style-type: none"> 市内の残された住宅地内における防災上や歩行者の通行上課題のある狭隘道路や行き止まり道路等について、順次改善を図っていく。 市街地の定住人口の維持・増加をめざし、ハード整備とソフト施策が一体となった取り組みを検討していく。 														
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,428	百万円	A	3,209	百万円	(うち提案分)	431	百万円	B	831	百万円	C	388	百万円
	効果促進事業費の割合 A提案分+C / (A+B+C)			18.5%											

社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況

A1.基幹事業											
番号	事業種別	事業名	目的・効果等	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更概要	事業実施期間		備考
				事業費	事業内容	事業費	事業内容		開始	終了	
1-A-1	都市再生	桶川市坂田地区都市再生整備計画事業	※別途都市再生整備計画の事後評価参照	839	道路、公園、区画整理等 325ha	640	道路、公園、区画整理等 325ha	事業内容変更のため減額	H22	H26	
1-A-2	都市再生	桶川市日出谷地区都市再生整備計画事業	※別途都市再生整備計画の事後評価参照	2,396	道路、公園、区画整理等 380ha	2,835	道路、区画整理等 380ha	事業内容変更のため増額	H22	H26	
B1.関連社会資本整備事業											
番号	事業種別	事業名	目的・効果等	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更概要	事業実施期間		備考
				事業費	事業内容	事業費	事業内容		開始	終了	
1-B-1	街路	坂田中央通り線整備事業	坂田地区の区画整理事業と一体的に整備することにより、ボトルネックを解消し、車両の快適な通行、歩行者等の安全を図る。	103	現道拡幅 L=100m W=16m	—	—	地元との調整により事業の削除	H24	H26	
1-B-2	道路	西側大通り線(第1工区)整備事業	日出谷地区の区画整理事業と一体的に、また圏央道で分断される地域を結ぶ重要な幹線道路を整備することにより、円滑な広域道路ネットワーク形成を図る。	408	新規整備 L=237m W=18m	408	新規整備 L=237m W=18m	変更なし	H23	H26	
1-B-3	道路	市道3019・3020号線	住宅地である日出谷地区へのアクセス道路として、安全な交通の確保を図る。	42	現道拡幅 L=270m	42	現道拡幅 L=270m	変更なし	H24	H26	
1-B-4	道路	市道1142号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス道路として、かつ、圏央道を横断する道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	30	現道拡幅 L=370m	—	—	地元との調整により事業の削除	H23	H25	
1-B-5	道路	市道1121号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス道路として、かつ、圏央道を横断する道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	23	現道拡幅 L=110m	—	—	地元との調整により事業の削除	H23	H25	
1-B-6	道路	市道3031・3032号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス道路として、かつ、圏央道を横断する道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	24	現道拡幅 L=140m	—	—	地元との調整により事業の削除	H24	H26	
1-B-7	道路	市道3036号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス道路として、かつ圏央道を横断する道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	56	現道拡幅 L=380m	—	—	地元との調整により事業の削除	H23	H26	
1-B-8	道路	圏央道側道(五丁台)	坂田地区内の圏央道桶川加納インターチェンジへのアクセス、また新たな圏央道の側道を整備し、通行の円滑化を図る。	12	現道拡幅 L=130m	—	—	地元との調整により事業の削除	H24	H26	
1-B-9	道路	市道2152号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス及び生活道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	11	現道拡幅 L=115m	11	現道拡幅 L=115m	変更なし	H23	H25	
1-B-10	道路	市道2095号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス及び生活道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	33	現道拡幅 L=200m	—	—	地元との調整により事業の削除	H24	H26	
1-B-11	道路	市道1505号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス及び生活道路として、安心で安全な通行空間の確保を図る。	5	現道拡幅 L=40m	—	—	城山公園等整備計画の策定後に実施するため事業の削除	H23	H24	
1-B-12	道路	市道4447号線	日出谷地区と近接しており、一体的に整備することにより安全で良好な住環境の整備を図る。	5	現道拡幅 L=77m	5	現道拡幅 L=77m	変更なし	H23	H24	
1-B-13	道路	市道5089号線	坂田地区内の圏央道桶川加納インターチェンジへのアクセス道路として、交通量が増大されることから安全な通行の確保を図る。	10	舗装補修 L=200m	13	舗装補修 L=230m	整備延長を延伸するため事業費の増額	H23	H24	
1-B-14	道路	市道5012号線	坂田地区へのアクセス道路として、安全な通行の確保を図る。	12	舗装補修 L=610m	—	—	27年度以降に実施するため事業の削除	H23	H25	
1-B-15	道路	市道12-3号線	日出谷地区・坂田地区、主要幹線道路を結ぶ道路のため、通行量が多い路線であり、交通の円滑化や安全な通行の確保を図る。	8	舗装補修 L=140m	—	—	先送りすることとしたため事業の削除	H23	H25	
1-B-16	道路	市道14号線	日出谷地区へのアクセス道路として交通量の多い道路であり、交通の円滑化や安全な交通の確保を図る。	20	舗装補修 L=650m	20	舗装補修 L=650m	変更なし	H24	H26	
1-B-17	道路	市道6343号線	工業団地内の道路であり、坂田地区内の圏央道桶川加納インターチェンジへのアクセス道路として、物流トラック等の交通量が増大されることから、交通の円滑化や安全な通行の確保を図る。	28	舗装補修 L=1,000m	—	—	27年度以降に実施するため事業の削除	H24	H26	
1-B-18	道路	市道1197号線	日出谷地区と幹線道路を結ぶ抜け道であり、アクセス道路として安全な通行の確保を図る。	20	舗装補修 L=540m	20	舗装補修 L=540m	変更なし	H23	H26	

1-B-19	道路	市道7号線	坂田地区や桶川駅への主要アクセス道路のため、交通量が多く、交通の円滑化や更なる安全な通行の確保を図る。	16	舗装補修 L=300m	32	舗装補修 L=810m	整備延長を延伸するため事業費の増額	H25	H26	
1-B-20	道路	市道4111号線	日出谷地区・坂田地区と一体的に整備することにより安全で良好な住環境の整備を図る。	24	側溝敷設 L=290m	24	側溝敷設 L=290m	変更なし	H24	H26	
1-B-21	道路	市道3258号線	日出谷地区の整備と一体的に整備することにより、安全で良好な住環境の整備を図る。	30	側溝敷設 L=306m	30	側溝敷設 L=306m	変更なし	H24	H26	
1-B-22	道路	市道69号線	日出谷地区や中心市街地へのアクセス道路である生活道路を整備し、安心で安全な通行空間の確保を図る。	20	側溝敷設 L=400m	—	—	整備計画再検討のため事業の削除	H23	H26	
1-B-23	道路	市道1034号線	日出谷地区や幹線道路へのアクセス道路である生活道路を整備し、安心で安全な通行の確保を図る。	18	側溝整備 L=300m	18	側溝整備 L=300m	変更なし	H23	H25	
1-B-24	道路	市道5399号線他2路線	坂田地区と一体的に整備することにより、安全で良好な住環境の整備を図る。	9	側溝整備 L=90m	22	現道拡幅・側溝整備 L=274m	事業内容変更のため増額	H23	H25	
1-B-25	道路	市道1372・1399号線	日出谷地区や幹線道路を結ぶ抜け道で交通量が多いため、歩行者の安全確保を図る。	70	歩道整備 L=698m	—	—	整備計画再検討のため事業の削除	H24	H26	
1-B-26	道路	市道5373号線	坂田地区や中心市街地、幹線道路のアクセス道路を整備することにより、周辺住民の生活環境の向上を図る。	57	現道拡幅 L=325m	57	現道拡幅 L=325m	変更なし	H23	H26	
1-B-27	道路	市道6153号線	坂田地区へのアクセス道路であり、拡幅により安全性と快適性を向上させる。	33	現道拡幅 L=180m	33	現道拡幅 L=180m	変更なし	H24	H26	
1-B-28	道路	市道6276・6294号線	坂田地区へのアクセス道路であり、拡幅により安全性と快適性を向上させる。	72	現道拡幅 L=780m	72	現道拡幅 L=850m	隣接市道を一体的整備するため路線を追加。事業費は費用の見直しにより変更なし。	H23	H26	
1-B-29	道路	市道6266号線	坂田地区や主要道路へのアクセス道路を拡幅することにより、安全の向上を図る。	11	現道拡幅 L=115m	11	現道拡幅 L=115m	変更なし	H23	H23	
1-B-30	道路	市道6277号線	坂田地区へのアクセス道路として、拡幅整備することにより、安全性の向上を図る。	17	現道拡幅 L=165m	22	現道拡幅 L=165m	地盤改良等の増工のため事業費の増額	H23	H24	
1-B-31	道路	市道6175号線	坂田地区や幹線道路へのアクセス道路を整備することにより、周辺住民の生活環境の向上を図る。	23	現道拡幅 L=258m	38	現道拡幅 L=258m	早期事業着手のため事業費の増額	H25	H26	
1-B-32	道路	市道6319号線	坂田地区へのアクセス道路として、拡幅整備することにより、安全性の向上を図る。	15	現道拡幅 L=225m	—	—	地元との調整により事業の削除	H23	H23	
1-B-33	道路	市道5375号線他2路線	坂田地区と近接し、主要道路へのアクセス道路を拡幅することにより、安全性の向上を図る。	18	現道拡幅 L=180m	15	現道拡幅 L=338m	隣接市道を一体的整備するため路線を追加。工事は27年度以降に実施するため事業費の減額	H25	H26	
1-B-34	道路	市道6255・6294号線	坂田地区へのアクセス道路で、舗装改善により、地域住民の安全で快適な通行を可能とする。	21	舗装補修 L=805m	—	—	地元との調整により事業の削除	H25	H26	
1-B-35	道路	市道6137号線他2路線	坂田地区へのアクセス道路である生活道路を整備し、地域住民の安全で快適な通行を可能とする。	—	—	6	側溝敷設 L=56m	地元との調整により新規事業を追加	H24	H24	
1-B-38	道路	坂田地内道路新設(市道5614号線)	坂田地区の区画整理事業に隣接し、主要道路へのアクセス道路として新設することにより、地域住民及び通行車両の安全確保と良好な住環境の整備を図る。	—	—	16	新設整備 L=80m	地元との調整により新規事業を追加	H25	H26	
1-B-39	道路	市道1-3号線	日出谷地区における主要道路であり、拡幅改良により、地域住民の安全確保及び通行車両の安全・快適な通行を可能とする。	—	—	70	現道拡幅 L=120m	事業推進のため新規事業を追加	H25	H26	
1-B-40	道路	田園都市産業ゾーンC地区道路	坂田地区内の田園都市産業ゾーン内に道路を新設し、工場等の企業誘致による就労機会の増進及び坂田地区の定住化促進に寄与する。	—	—	55	新設整備 L=165m	道路整備を実施するため新規事業を追加	H25	H26	
1-B-41	道路	市道3号線	坂田地区へのアクセス道路であり、舗装改善により、地域住民の安全で快適な通行を可能とする。	—	—	10	舗装補修 L=200m	地元との調整により新規事業を追加	H25	H25	
1-B-42	道路	市道6010号線	坂田地区へのアクセス道路であり、拡幅整備により、地域住民、特に通学生徒の安全で快適な通行を可能とする。	—	—	20	現道拡幅 L=200m	市道の拡幅整備をするため新規事業を追加	H26	H26	

1-B-43	道路	東口駅前広場	坂田地区は素より桶川市の中心地におけるJR高崎線桶川駅東口の駅前広場の新設により、渋滞解消や地域住民・駅利用者の安全で快適な通行を可能とし、かつ、駅の利便性が向上する。	—	—	260	新設整備 A=5,600㎡	25年度内の事業認可を得ることから新規事業を追加	H26	H26	
--------	----	--------	--	---	---	-----	---------------	--------------------------	-----	-----	--

C1.効果促進事業											
番号	事業種別	事業名	目的・効果等	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更概要	事業実施期間		備考
				事業費	事業内容	事業費	事業内容		開始	終了	
1-C-1	施設整備	街灯LED整備事業	坂田地区及び日出谷地区の整備と一体的にLED式防犯灯に新設・改修することにより、犯罪を抑止し、安全で安心なまちづくりに効果がある。また、環境面でもCO2削減を図る。	65	街灯・道路照明灯のLED新設・改修整備	85	街灯・道路照明灯のLED新設・改修整備	事業量の増のため事業費の増加	H23	H26	
1-C-2	施設整備	交通安全対策整備事業	坂田地区及び日出谷地区と一体的に交通安全施設の整備を行い、歩行者等の安全を確保する。	12	区画線、グリーンベルト等交通安全施設整備	—	—	交通安全対策特別交付金の対象とするため事業の削除	H23	H26	
1-C-3	河川	石川川整備事業	圏央道及び上尾道路(国道17号)を含む西側地域(日出谷地区)の排水が流入する石川川について、一体的に整備することにより、流域排水対策の効果が高まり、安全な住環境の形成を図る。	50	測量調査設計、用地買収、補償、工事	50	測量調査設計、用地買収、補償、工事	変更なし	H23	H24	
1-C-4	河川	高野戸川・石川川治水対策事業	圏央道を含む東側地域の流末となる高野戸川(坂田地区)及び圏央道・上尾道路を含む西側地域の流末となる石川川(日出谷地区)について、土地利用の変化及び集中豪雨等に伴う流量の増加を踏まえ、一体的に整備することにより、流域における治水対策の効果を高め、安全な住環境の形成を図る。	15	改修計画修正業務委託	15	改修計画修正業務委託	変更なし	H23	H24	
1-C-5	施設整備	ふるさと歩道整備事業	日出谷地区と一体的に行うことにより、市民の憩いの場である城山公園の利用促進や健康増進、歴史や自然に触れ合う機会の拡大を図る。	6	指導標識の改修、新設並びにパンフレットの作成	6	指導標識の改修、新設並びにパンフレットの作成	変更なし	H24	H26	
1-C-6	施設整備	文化財説明板整備事業	坂田地区・日出谷地区と一体的に整備することにより、文化財めぐりをはじめとした市内観光のための情報発信と利便性の向上を図る。また、地域での文化財愛護の普及・啓発を図る。	5	文化財めぐりの拠点に設置	5	文化財めぐりの拠点に設置	変更なし	H23	H26	
1-C-7	施設整備	中山道パーキングトイレ整備事業	坂田地区と一体的に整備し、中心市街地の商店街駐車場にトイレを併設し買い物客や、近年増加する中山道桶川宿を訪れる観光客の利便性を向上させる。	20	延床面積25.8㎡	20	延床面積25.8㎡	変更なし	H23	H23	
1-C-8	施設整備	いずみの学園プール整備事業	日出谷地区の整備とともに、市内全域から通園する児童福祉施設的环境整備によって、人口の定着に貢献する子育て環境の充実を図る。	2	プール改修工事	2	プール改修工事	変更なし	H23	H23	
1-C-9	施設整備	学校施設整備事業	日出谷地区の中学校について、運動施設を整備することにより、教育環境の向上を図る。また、高台にあるため市道への土砂流出を防止し、生徒・市民への安全を確保する。	25	西中テニスコート改修工事	25	西中テニスコート改修工事	変更なし	H23	H23	
1-C-10	公園	城山公園多目的グラウンド拡張等整備事業	日出谷地区の住宅基盤が整備されることにより、新たな転入者を含め多くの市民に利用される公園とするため、公園の改善整備を行う。	134	整備面積2.4ha	210	整備面積2.4ha	事業費の精査により事業費を増加	H23	H25	
1-C-11	公園	城山公園改修計画策定事業	日出谷地区の住宅基盤が整備されることにより、新たな転入者を含め多くの市民の利用される公園とするため、公園の改善整備のための計画策定を行う。	—	—	15	策定面積 10.3ha	公園全体の改修計画を策定するため新規事業を追加	H26	H26	
1-C-12	公園	児童遊園地整備事業	坂田地区の住宅基盤整備とともに、身近な子育て環境の充実として、地域に不足する児童遊園地を整備する。	—	—	11	整備面積 600㎡	旧来の住民との交流が図られるため新規事業の追加	H26	H26	

(参考図面) 事業実施箇所図

計画の名称	安心安全で良好な住環境の形成	交付対象	埼玉県 桶川市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

